

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東日本医療専門学校
設置者名	学校法人健生学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	柔道整復スポーツ科学科	夜・通信	12単位 (414時間)	9単位 (240時間)	
	鍼灸スポーツ科学科	夜・通信	15単位 (450時間)	9単位 (240時間)	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kenseigakuen.jp/wp-content/themes/kenseigakuen/images/self_report/syllabus_all.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東日本医療専門学校
設置者名	学校法人健生学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.kenseigakuen.jp/wp-content/themes/kenseigakuen/images/self_report/board-of-directors.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人 代表（現職）	平成29年 12月7日 ～ 令和2年 12月6日	コンプライアンス
非常勤	株式会社 代表（現職）	平成29年 12月7日 ～ 令和2年 12月6日	業界視点のカリキュラムの指摘
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東日本医療専門学校
設置者名	学校法人健生学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・年度の授業終了時に、学科会議において、各科目の成績評価等により到達目標の達成度合いを確認し、次年度の授業計画の方針を決定する。 ・その方針を各科目の担当教員に伝え、シラバス作成マニュアルに沿って作成する。その記載内容については以下のものがある。 <ul style="list-style-type: none"> 授業の方法（講義、演習、実技の別）、授業の内容、授業回数、スケジュール、到達目標、成績評価の方法、実務経験がある場合にはその記載、授業で使われる教科書名又は資料等、参考図書など。 ・作成提出期限を設定し、その期日まで提出する。 ・提出されたシラバス内容が目標達成充分かどうか確認をする。 ・不十分な場合は再提出を求め年度末までに完成するようにする。 ・授業計画の公表については、新年度に行われるオリエンテーションにて説明を行う。 ・さらに、最初の授業にあたっては、各教員がその授業に対する、授業計画の説明を行い到達目標の意識付けをはかる。 ・オリエンテーション終了時にHP上でも公開する。 	
授業計画書の公表方法	https://www.kenseigakuen.jp/self_report
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- ・各授業科目の学習評価は、期末試験等により評価する。最終評定は100点法によって行い、60点以上を合格とする。
- ・しかし、期末試験等の結果を問わず、単位修得に必要な出席率が2/3に達しない場合は不合格とする。
- ・成績評価規準は次の通りである。

評語	最終判定	合否
秀	100点～90点	合格
優	89点～80点	
良	79点～70点	
可	69点～60点	
不可	60点未満	不合格

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・成績の分布状況を把握するために次のものを客観的な指標に設定する。
指標：履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。
- ・この指標により算出された平均点により成績の分布状況を作成し、生徒への学習指導の参考にする。
- ・この指標はホームページ上に公表するとともに、年度初めに行うオリエンテーションにて生徒に説明し周知を図る。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

https://www.kenseigakuen.jp/wp-content/themes/kenseigakuen/images/self_report/grade.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- ・出欠席日数：全課程の2/3以上の出席
 - ・教育課程に定める全ての単位修得
 - ・学則第25条に定める懲戒の処分を受けていないこと
- 以上を踏まえ、卒業判定会議により審議し、学校長がこれを認定する。
その結果については、1週間以内に掲示する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

https://www.kenseigakuen.jp/wp-content/themes/kenseigakuen/images/self_report/graduation-certification.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東日本医療専門学校
設置者名	学校法人健生学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kenseigakuen.jp/wp-content/themes/kenseigakuen/images/self_report/balance-sheet.pdf
収支計算書 又は損益計算書	https://www.kenseigakuen.jp/wp-content/themes/kenseigakuen/images/self_report/fund-statement.pdf
財産目録	https://www.kenseigakuen.jp/wp-content/themes/kenseigakuen/images/self_report/property-inventory.pdf
事業報告書	https://www.kenseigakuen.jp/wp-content/themes/kenseigakuen/images/self_report/business-report.pdf
監事による 監査報告 (書)	https://www.kenseigakuen.jp/wp-content/themes/kenseigakuen/images/self_report/audit-report.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	柔道整復スポーツ科学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,976/145 単位時間/単位	1932/111 単位時間 /単位	180/11 単位時間 /単位	180/4 単位時間 /単位	0/0 単位時間 /単位	684/19 単位時間 /単位
			2,976/145 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		124人	人	8人	20人	28人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度の授業終了時に、学科会議において、各科目の成績評価等により到達目標の達成度合いを確認し、次年度の授業計画の方針を決定する。 ・その方針を各科目の担当教員に伝え、シラバス作成マニュアルに沿って作成する。その記載内容については以下のものがある。 授業の方法（講義、演習、実技の別）、授業の内容、授業回数、スケジュール、到達目標、成績評価の方法、実務経験がある場合にはその記載、授業で使われる教科書名又は資料等、参考図書など。

- ・作成提出期限を設定し、その期日まで提出する。
- ・提出されたシラバス内容が目標達成充分かどうか確認をする。
- ・不十分な場合は再提出を求め年度末までに完成するようにする。
- ・授業計画の公表については、新年度の行われるオリエンテーションにて説明を行う。
- ・さらに、最初の授業にあたっては、各教員がその授業に対する、授業計画の説明を行い到達目標の意識付けをはかる。
- ・オリエンテーション終了時に HP 上でも公開する。

成績評価の基準・方法

(概要)

- ・各授業科目の学習評価は、期末試験等により評価する。最終評定は 100 点法によって行い、60 点以上を合格とする。
- ・しかし、期末試験等の結果を問わず、単位修得に必要な出席率が 2/3 に達しない場合は不合格とする。
- ・成績評価規準は次の通りである。

評語	最終判定	可否
秀	100 点～90 点	合格
優	89 点～80 点	
良	79 点～70 点	
可	69 点～60 点	
不可	60 点未満	不合格

卒業・進級の認定基準

(概要)

- ・出欠席日数：全課程の 2/3 以上の出席
 - ・教育課程に定める全ての単位修得
 - ・学則第 25 条に定める懲戒の処分を受けていないこと
- 以上を踏まえ、卒業判定会議により審議し、学校長がこれを認定する。
その結果については、1 週間以内に掲示する。

学修支援等

(概要)

- ・成績不良者については面談を行い、学習計画を立てさせ実行させていく。
- ・時々、担任が進捗度合いをチェックし必要に応じて補習を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
28 人 (100%)	1 人 (3.5%)	27 人 (96.4%)	0 人 (0%)

(主な就職、業界等)
整骨院、スポーツジム

(就職指導内容)
校内就職ガイダンスを行い希望就職先に勤めることができるよう働きかける。

(主な学修成果（資格・検定等）)
柔道整復師国家試験受験資格

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
110 人	9 人	8.2%
(中途退学の主な理由) ・進路変更や勉強についていけないため。		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・欠席日数が目立つようになると担任より個人面談を行い、欠席理由の把握を行い同時にご家族の方と連絡をとり早期の問題解決に努めている。 ・成績向上のため、放課後等を利用して勉強会を開催している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	鍼灸スポーツ科学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,805/104 単位時間/単位	1,875/75 単位時間 /単位	300/10 単位時間 /単位	180/4 単位時間 /単位	0/0 単位時間 /単位	450/15 単位時間 /単位
			2,805/104 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		49人	0人	5人	7人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度の授業終了時に、学科会議において、各科目の成績評価等により到達目標の達成度合いを確認し、次年度の授業計画の方針を決定する。 その方針を各科目の担当教員に伝え、シラバス作成マニュアルに沿って作成する。その記載内容については以下のものがある。 <ul style="list-style-type: none"> 授業の方法（講義、演習、実技の別）、授業の内容、授業回数、スケジュール、到達目標、成績評価の方法、実務経験がある 場合にはその記載、授業で使われる教科書名又は資料等、参考図書など。 作成提出期限を設定し、その期日まで提出する。 提出されたシラバス内容が目標達成充分かどうか確認をする。 不十分な場合は再提出を求め年度末までに完成するようにする。 授業計画の公表については、新年度に行われるオリエンテーションにて説明を行う。 さらに、最初の授業にあたっては、各教員がその授業に対する、授業計画の説明を行い到達目標の意識付けをはかる。 オリエンテーション終了時にHP上でも公開する。 																	
成績評価の基準・方法																	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各授業科目の学習評価は、期末試験等により評価する。最終評定は100点法によって行い、60点以上を合格とする。 しかし、期末試験等の結果を問わず、単位修得に必要な出席率が2/3に達しない場合は不合格とする。 成績評価規準は次の通りである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>最終判定</th> <th>可否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秀</td> <td>100点～90点</td> <td rowspan="4">合格</td> </tr> <tr> <td>優</td> <td>89点～80点</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>79点～70点</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>69点～60点</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>60点未満</td> <td>不合格</td> </tr> </tbody> </table>			評語	最終判定	可否	秀	100点～90点	合格	優	89点～80点	良	79点～70点	可	69点～60点	不可	60点未満	不合格
評語	最終判定	可否															
秀	100点～90点	合格															
優	89点～80点																
良	79点～70点																
可	69点～60点																
不可	60点未満	不合格															
卒業・進級の認定基準																	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 出欠席日数：全課程の2/3以上の出席 教育課程に定める全ての単位修得 学則第25条に定める懲戒の処分を受けていないこと <p>以上を踏まえ、卒業判定会議により審議し、学校長がこれを認定する。その結果については、1週間以内に掲示する。</p>																	

学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・成績不良者については面談を行い、学習計画を立てさせ実行させていく。 ・時々、担任が進捗度合いをチェックし必要に応じて補習を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	12人 (85.7%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 鍼灸院・鍼灸接骨院			
(就職指導内容) 校内就職ガイダンスを行い希望就職先に勤めることができるよう働きかける。			
(主な学修成果（資格・検定等）) はり師、きゅう師国家試験受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47人	6人	12.8%
(中途退学の主な理由) <ul style="list-style-type: none"> ・進路変更や勉強についていけないため。 		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・欠席日数が目立つようになると担任より個人面談を行い、欠席理由の把握を行い同時にご家族の方と連絡をとり早期の問題解決に努めている。 		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
柔道整復スポーツ科学科	0 円	900,000 円	(1年次)340,000 円 (2-3年次)280,000 円	その他の内訳 1年次 2-3年次 実習費 140,000 円 120,000 円 施設管理費 200,000 円 160,000 円
鍼灸スポーツ科学科	0 円	900,000 円	(1年次)340,000 円 (2-3年次)280,000 円	その他の内訳 1年次 2-3年次 実習費 140,000 円 120,000 円 施設管理費 200,000 円 160,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kenseigakuen.jp/wp-content/themes/kenseigakuen/images/self_report/r1_jikosaiten.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> ・「学校関係者評価委員会に関する規程」に則り、(表1)の区分より少なくとも4名以上を委員として選出し、評価委員会を開催する。 ・評価委員会では、前年度の自己評価結果に関して委員から意見を聴取し、それを報告書にまとめる。 ・作成された報告書はホームページ上に公表するとともに、指摘された改善が必要な点については、その実施時期等を学校内で協議検討の上、校長の指示のもと改善を図り、日々の教育活動およびその他の学校運営に活用していくものとする。 (表1：学校関係者評価委員の選出区分) (1) 関連業界団体等関係者 (2) 地元企業関係者 (3) 高等学校関係者 (4) 地域住人 (5) 学校法人健生学園卒業生 (6) 学校法人健生学園在校生保護者 (7) その他教育や学校運営に関する有識者		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
ジャパン柔道整復師会	令和2年3月1日～令和4年2月末日	(1) 関連業界団体等関係者
宮町鍼灸整骨院	令和2年3月1日～令和4年2月末日	(2) 地元企業関係者 (5) 学校法人健生学園卒業生
イーグル整骨院仙台東口店	令和2年3月1日～令和4年2月末日	(2) 地元企業関係者 (5) 学校法人健生学園卒業生
イーグル整骨院長町店	令和2年3月1日～令和4年2月末日	(2) 地元企業関係者 (5) 学校法人健生学

		園卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.kenseigakuen.jp/wp-content/themes/kenseigakuen/images/self_report/r1_concern.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.kenseigakuen.jp/